

課題その2

あまね〈国民が享受すべき天気予報等の充実

天気予報等の充実

防災利用に供するためのほか、あまね〈国民が享受すべき基盤的共有財産として、天気予報等の充実

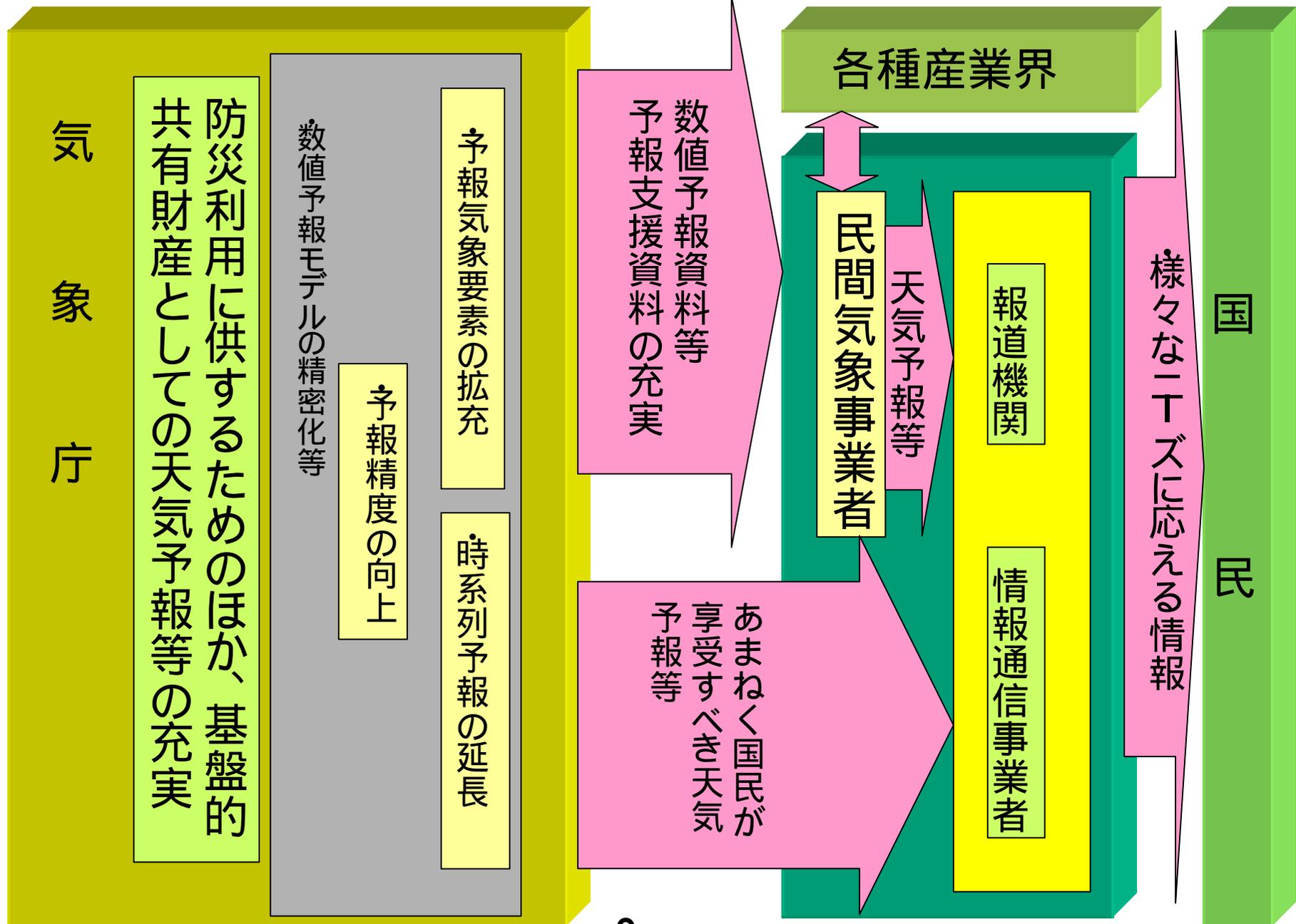
広範な分野における天気予報等の利活用の促進

各種ニーズに対応して天気予報等を作成・加工・提供する民間気象事業者、情報通信に係る事業者等との連携・協力

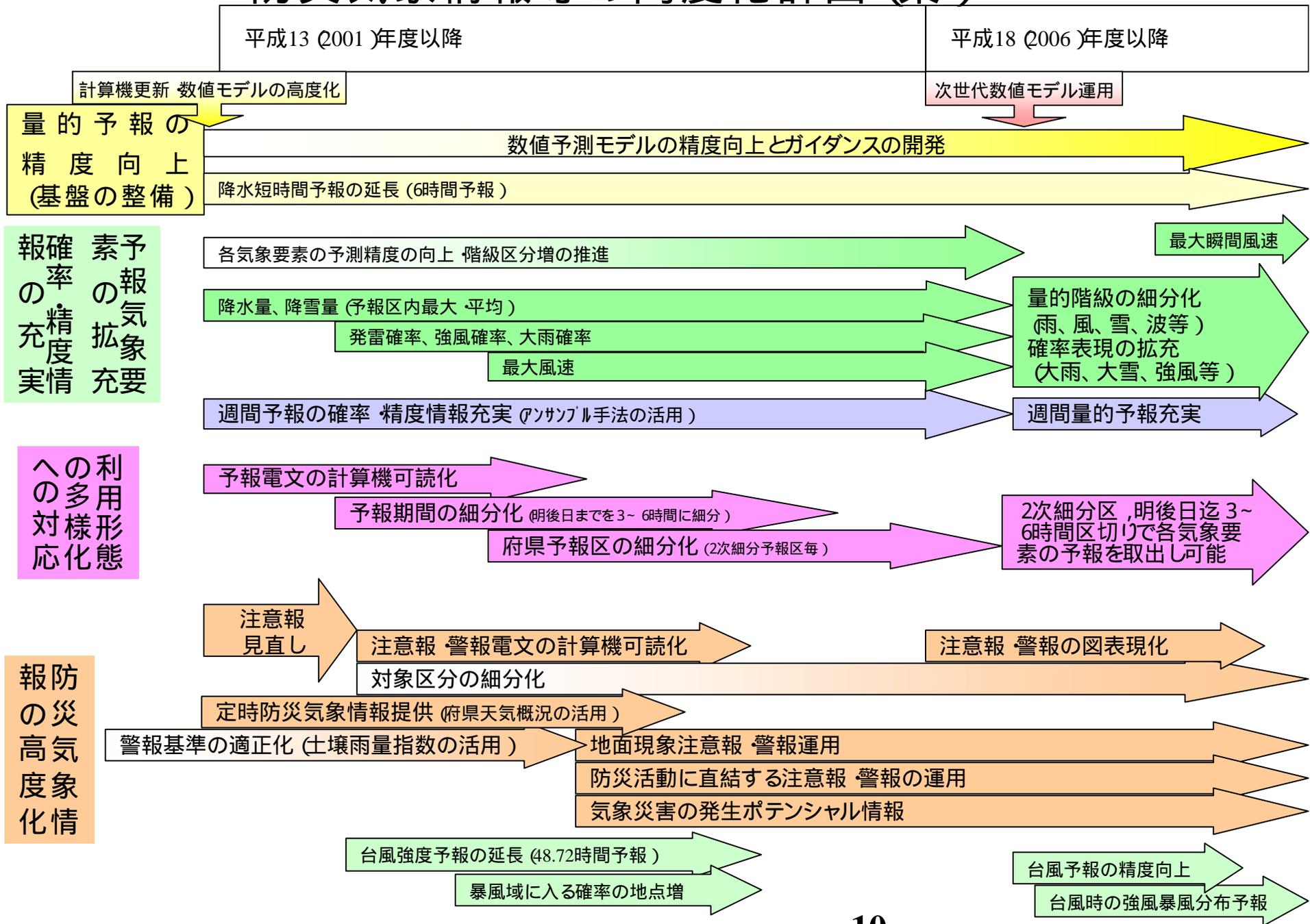
数値予報資料等提供情報の一層の拡大

情報提供方式の高度化等民間気象業務支援センターに対する助言・指導

あまねく国民が享受すべき天気予報等の充実



防災気象情報等の高度化計画（案）



課題その3

航空機の安全な運航のための航空気象情報の高度化

乱気流情報の高度化

飛行中の航空機に重大な影響を及ぼす乱気流の「いつ」、「どこで」、「どの程度の強さ」を示した情報の適時・的確な発表

飛行場予報の高度化

航空機の離着陸に影響を及ぼす悪天現象の監視・予測の高度化

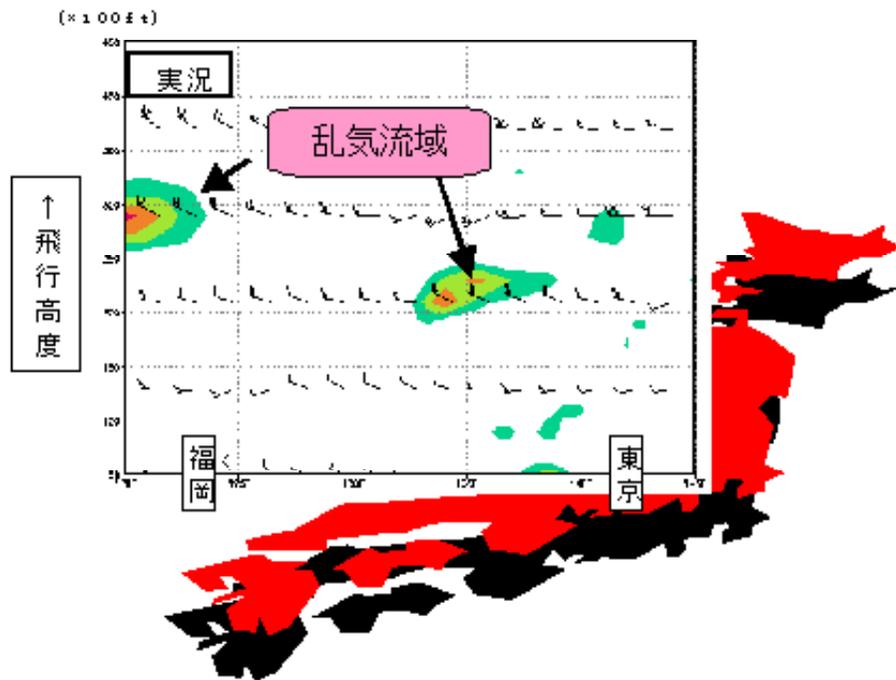
情報提供の高度化

次世代航空通信システムに基づく情報提供の即時化、情報の可視化・共有化（航空局、民間航空会社との連携強化）

乱気流情報の高度化

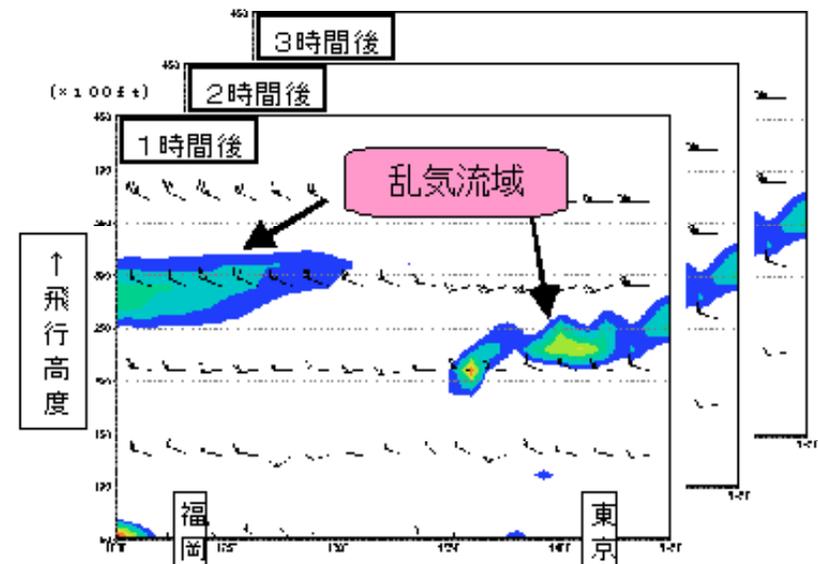
乱気流が「いつ」、「どこで」、「どの程度の強さ」で発生するかを明示

正確な実況把握



航空機自動気象観測データ、操縦士報告等を利用した乱気流域の実況解析

高精度な予測



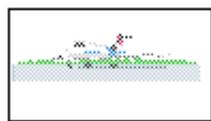
数値予報モデルによる乱気流域の予測

飛行場予報の高度化

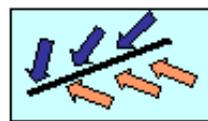
航空機の離着陸に影響を及ぼす悪天現象の実況監視及び予報



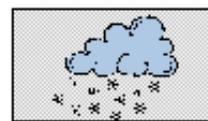
雲底高度



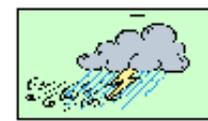
視程(霧)



風(強風、収束線)



雨・雪等の降水現象



積乱雲(落雷、突風)

悪天現象の発生確率予測の発表

〇〇 空港10日04UTCの予測

雲底高度1000ftを下回る確率 60%

視程3200mを下回る確率 50%

平均風速20ktを超える確率 70%

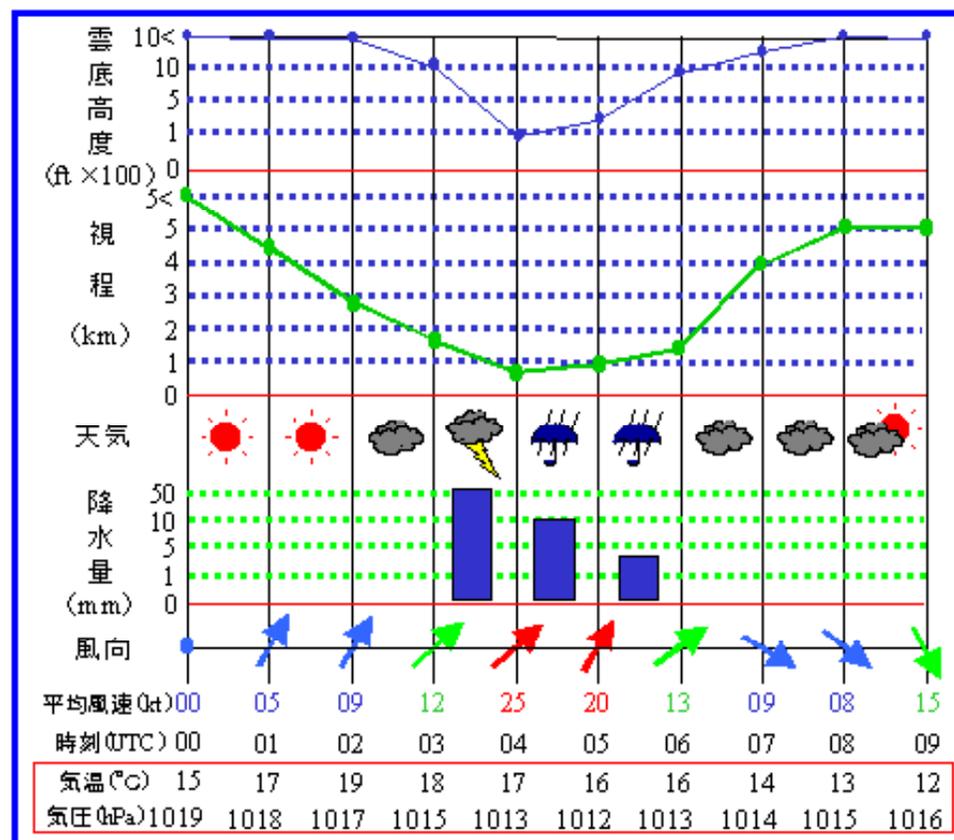
瞬間風速40ktを超える確率 40%

1時間降水量50mm以上の確率50%

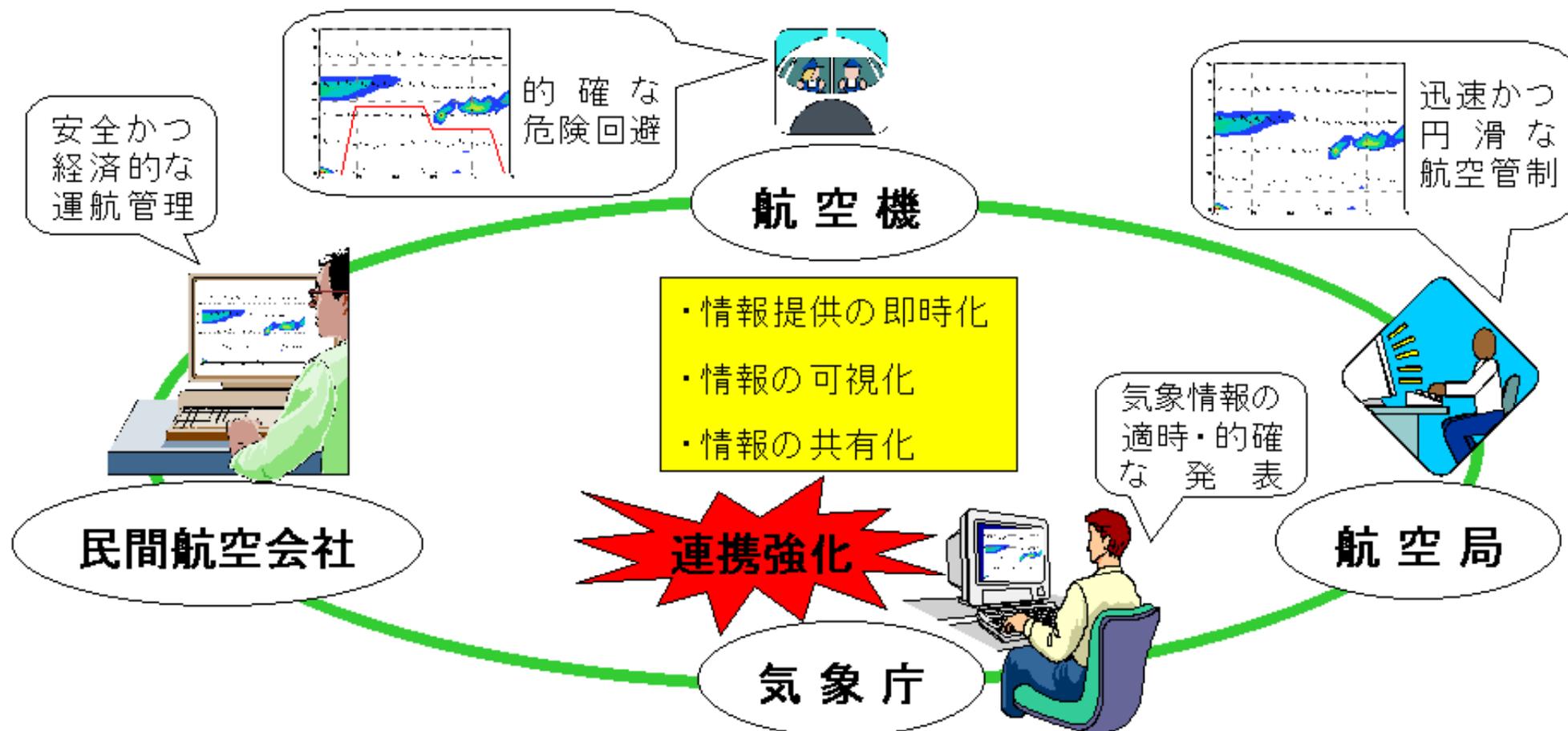
発雷確率 40%



時系列予報の発表



情報提供の高度化



・飛行場内情報提供システムの高度化

(情報提供の一元化、利用者負担の最小化、提供情報の最大化等)

・航空気象情報の高度化のための連絡会

船舶の安全運航のための海上気象情報の高度化

台風情報の精度向上

より精度の高い台風進路予報と、強度予報の拡充

週間海上防災気象情報の拡充

船舶の航路設定や、漁船の操業計画に不可欠な悪天情報の1週間程度先まで延長

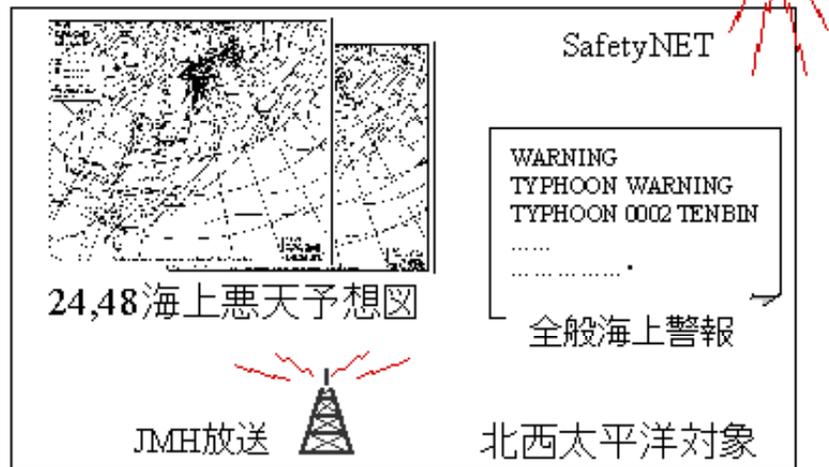
情報提供の高度化

衛星通信を利用したわかりやすく、使いやすい海上気象情報の提供

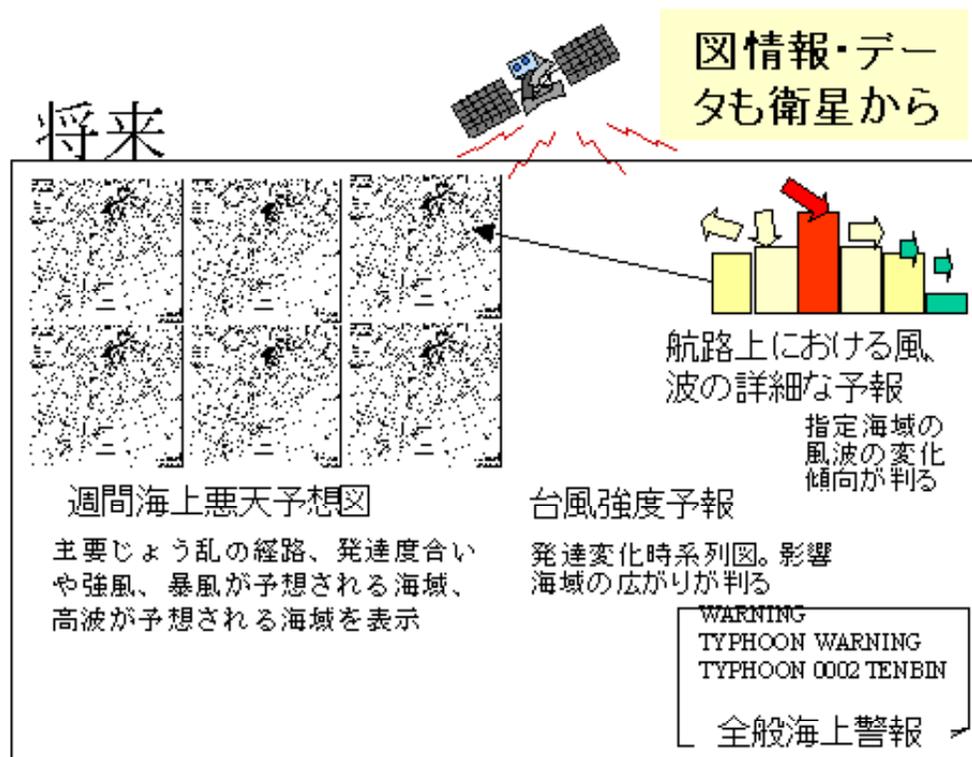
観

た

現状



将来



台風予報精度の向上を
図情報が鮮明でない
長い時間の予報が欲しい

